

森山 美知子

広島大学大学院医系科学研究科 成人看護開発学 教授

慢性疾患管理の看護モデルを開発し、データヘルス計画に寄与。海外支援も



森山 美知子
Michiko Moriyama

広島大学大学院
医系科学研究科
成人看護開発学 教授

1983年、京都第一赤十字看護専門学校卒業。京都第一赤十字病院、日本赤十字社医療センター 看護師を経て、1992年、カリフォルニア州立大学フレズノ校 看護学部大学院修士課程修了(看護学修士)。同年、山口女子大学家政学部助手。1996年、山口県立大学看護学部講師。1997年、厚生省保険局医療課、健康政策局看護課、老人保健課等で看護専門官。2000年、博士号取得(山口大学/医学)。2002年、広島大学医学部保健学科看護学専攻教授。2007年、慢性疾患看護専門看護師コース開設、現在に至る。2010年、株式会社 DPPヘルスパートナーズ設立、取締役会長(2018年10月まで)。日本学術会議会員、日本健康会議実行委員、日本プライマリ・ケア連合学会理事など歴任。

推薦者 | 吉沢 豊予子 公益社団法人日本看護科学学会 理事長
木原 康樹 地方独立行政法人神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院 病院長

中本 克州 社会福祉法人呉市社会福祉協議会 会長
福井 トシ子 国際医療福祉大学大学院 副大学院長
横倉 義武 社会医療法人弘恵会 理事長

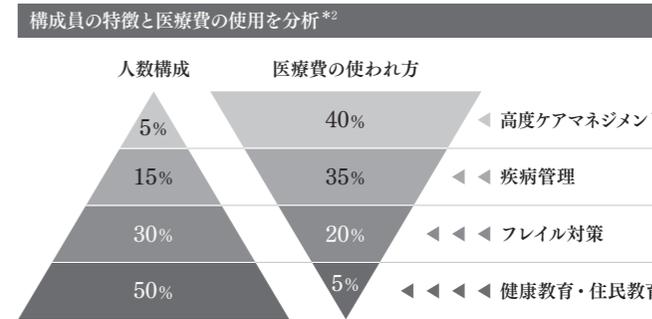
レセプトデータの先に見えるもの

2003年、森山美知子氏はシカゴで行われた第5回・米国疾病管理学会に参加していた。そこで議論されていたのは、慢性疾患で悪化する人を抽出して早期に介入する方法論だ。保険会社の医療費支払いデータを分析し、重症化が危惧される高リスク層に対して、予防的ケアを行うというもの。医療保険者にとっては支出の適正化につながり、被保険者にとっては重症化予防とQOL維持につながる。森山氏は、「これこそ看護師の仕事だ」と天啓を得たという。

日本では、企業・団体の健康保険組合や自治体がレセプト*1のデータを持っている。ある自治体の後期・国保医療費のデータを分析してみると、医療費が最もかかっているのは、複数の慢性疾患を有し入院をくり返す人、救急およびICUを利用する人だった。つまり、こうした慢性疾患の高リスク層に介入することが、医療費の適正化につながることがわかったのだ。臨床経験のある専門家がレセプトデータを分析することで、判明した事実である。また患者は生活管理の指導は受けていないケースが多く、それにもかかわらず、看護師のもつ慢性疾患管理の知識やスキルはほとんど活かされていない。そこに森山氏は目をつけた。医療保険者に対してレセプトや健診データを分析し、重症化高リスク層に看護師がケアを提供する、『慢性疾患 重症化予防プログラム』を開発した。

途上国支援は、若き日の志が原点

重症化予防プログラムを使ってもらおうと、広島県に本社を置く企業の健康保険組合を10数社訪問した。しかし保健師が既にあるなどの理由から相手にされない。あるとき新聞の全面広告に目にとまった。「呉市がジェネリック医薬品の情報通知を開



呉市では、長期入院や入院をくり返している人など高リスク層の5%が医療費の40%を使用している。この高リスク層に看護職がアプローチすることで医療費の適正化をめざす。

始」というもので、これだ!と閃いた森山氏は、当時の中本副市長に面会を申し込み、「ジェネリックの使用で削減された医療費で、慢性疾患管理をやらせてください」と申し出た。中本副市長も「何かやらないといけないと思っていた」と応じる。そこで、市にとって重い医療費負担となっていた、人工透析患者を増やさないようにするため、糖尿病性腎症の重症化予防事業がスタート。地域のプライマリケアを担う医師達の理解を求め、森山氏の説明行脚が始まった。看護師による指導費用は医療保険者の呉市が負担し、かかりつけ医との連携の元で管理が行われることなどを説明して回った。訪問数は100件近くにも及ぶ。同時に疾患管理を行う看護師の育成にも力を入れ、臨床経験がある人材を採用し、手厚い研修を行った。これが国のデータヘルス計画にも採用されたのだ。



バンラデシュでは、医療の質改善、学校看護や慢性疾患管理などの看護プロジェクトを実施。

森山氏の開発した慢性疾患管理の看護モデルは海外でも展開されており、バンラデシュでは、グラミン・グループのプライマリケアセンターと提携し、糖尿病の疾患管理を行っている。森山氏が看護職を選んだのは、開発途上国の人々の役に立ちたいという思いが原点にある。その志を胸に、世界の人々への貢献は続く。

*1 医療機関が医療保険者に請求する診療報酬の請求明細書のこと。*2 呉市後期高齢者医療制度の医療費分析結果(呉市・広島大学 医療費分析報告書、2016年3月より抜粋)